

京菓子展 「手のひらの自然—源氏物語」2018

京菓子デザイン公募

入選作品は京菓子展「手のひらの自然—源氏物語」2018に展示いたします

食べる場や人にあわせて、一つひとつ、意匠がつむぎ出される京菓子。
テーマや情景を、小さな菓子の世界につくりあげる際、和歌は大きな役割を果たしてきました。
源氏物語は、平安時代中期に紫式部によって書かれた長編小説です。主人公である光源氏を通して、
平安貴族社会の様子が描かれています。その世界のイメージは一千年の時を超えて、
今なお現代に生きる私たちのさまざまな文化に影響を与え続けています。
源氏物語をテーマに、京菓子の意匠を考えてみませんか。創造力に満ちたデザインを募集いたします。

京菓子展「手のひらの自然—源氏物語」2018

会場：有斐斎弘道館 特別会場：旧三井家下鴨別邸 会期：2018年10月21日(日)～11月4日(日)

主催：公益財団法人 有斐斎弘道館、京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム

共催：京都市、公益社団法人 京都市観光協会、古典の日推進委員会 後援：京都府 協力：文化庁 地域文化創生本部

「京の菓子文化」は
2017年に
“京都をつなぐ
無形文化遺産”に
選ばれました



募集要項

【テーマ】「源氏物語を通して表現される小さな芸術」

京菓子は、絵画や和歌、俳句などを題材に、また影響を受けながら、創作されてまいりました。
源氏物語の世界よりイメージを膨らませ、新たな感性で表現した京菓子作品を期待します。

【募集内容】

京菓子デザイン部門 入選デザインは菓子職人により実作され、展示されます。
茶席菓子実作部門 茶席菓子（いわゆる上生菓子）を実作される方を対象にした部門。
試作写真及び実作品にて審査し、入選者は9月25日（火）までに京菓子作品を制作いただきます。
工芸菓子実作部門 工芸菓子・その他（干菓子等も含む）を実作される方を対象にした部門。
試作写真及び実作品にて審査し、入選者は9月25日（火）までに工芸菓子作品を制作いただきます。

【応募資格】

京菓子デザイン部門：京菓子、源氏物語、和歌に興味のある方。
茶席菓子実作部門・工芸菓子実作部門：自身で茶席菓子・工芸菓子の作品を制作できる方。
※年齢、国籍、プロ・アマは問わない。

【賞】

大賞：各部門より1点。副賞として有斐斎弘道館にて個展を開催、または、制作した京菓子作品を用いた茶会の開催ができます（時期・内容は相談の上決定）。
優秀賞：各部門より数点。
京都市長賞：全部門より1点。
古典の日推進委員会特別賞：全部門より1点。
審査員特別賞：各審査員1点ずつ。
学生特別賞：学生応募の中より1点。

【審査員】

| | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 門川 大作（京都市長） | 廣瀬千紗子（同志社女子大学 特任教授） |
| 笹岡 隆甫（華道「末生流笹岡」家元） | 山本 壯太（古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー） |
| 鈴木 宗博（菓子研究家） | 濱崎加奈子（専修大学 准教授、有斐斎弘道館 館長） |
| 田中 一雄（株式会社GKデザイン機構 代表取締役 社長） | |

【応募期間】

2018年7月1日（日）～2018年8月31日（金）必着

【スケジュール】

第一次審査：京菓子デザイン部門はデザイン画により、京菓子実作部門（茶席菓子、工芸菓子）は試作品の写真により入選作品を選出。
審査結果はウェブサイトにて発表いたします。入選者の方には郵送にて通知いたします。
入選作品はすべて京菓子展「手のひらの自然－源氏物語」2018に展示されます。
搬入：デザイン部門入選作品は、菓子職人により実作、搬入いたします。茶席菓子実作部門・工芸菓子実作部門は、
入選者ご自身で持参するか、送付にて搬入してください。搬入日時、方法については、入選者に追ってご連絡いたします。
第二次審査：入選作品の中から大賞・優秀賞等を決定（茶席菓子実作部門は試食審査があります）。
表彰：展覧会の初日（またはレセプション）に表彰式を行います。

【応募方法】

応募用紙：右ページの応募用紙、もしくは京菓子展「手のひらの自然－源氏物語」2018のウェブサイトからダウンロードした応募用紙に
必要事項をご記入ください。
応募受付：「デザイン部門」に応募の方は、郵送及びメールでの応募ができます。「実作部門」に応募の方は郵送またはご持参ください。
両方とも原則としてFAXでの受け付けはできません。
応募先：必要事項記入済みの応募用紙を下記の住所、もしくはメールアドレスに送付ください。ただし、応募後の返却には応じられません。

【審査のポイント】

- ・源氏物語をどのように捉えるか、京菓子の特性をどのように活かすかについて応募者なりの視点があること。
- ・京菓子は目で食べる、と言われるほど銘（お菓子の名前）が重要な要素です。菓子のデザインと銘が互いに引き立てあうような作品を期待します。
- ・菓子のデザインは特に「食べる」ことを考えた作品であること。

【注意事項】

- ・作品は国内外未発表のオリジナル作品に限ります。応募は応募用紙1枚につき1点とし、全部門合わせてお一人2点までとします。
- ・京菓子デザイン部門、茶席菓子実作部門では複数の菓子を一つの作品として応募することはできません。
- ・会期中変色・腐食等の場合は交換しますので、実作部門の入選者は最低15個制作していただきます。
- ・デザイン部門の入選者は、デザイン画をもとに職人が展示作品を制作します。デザイン画を尊重しますが、職人による技術的な判断のもと作品を制作します。
- ・ご応募いただいた書類等は返却いたしません。いただいた個人情報は責任を持ち管理し、本事業以外の目的では使用しません。
- ・入賞作品に関する一切の知的財産権（国内外の著作権、特許、実用新案、意匠、商標に関する権利）は、原則として有斐斎弘道館に譲渡されるものとします。
- ・入賞作品・応募者名については有斐斎弘道館が京菓子展「手のひらの自然」に関する広報等の目的のために公開することがあります。

【応募先・問い合わせ先】

公益財団法人 有斐斎弘道館（水曜休館）
〒602-8006 京都市上京区上長者町通新町東入元土御門町524-1
TEL/FAX：075-441-6662 E-mail：kyogashi@kodo-kan.com WEB：http://kodo-kan.com/kyogashi/ 担当：栗田、北神

※応募用紙1枚につき1点のみとします。2点の場合は、2枚でご応募ください

応募用紙

※事務局使用欄 月 日 No.

| | |
|--------------------------------|--|
| (フリガナ) 氏名 | 応募部門 (○をしてください) 京菓子デザイン部門 / 茶席菓子実作部門 / 工芸菓子実作部門 |
| 作品タイトル (銘) | サイズ 縦 cm × 横 cm × 高さ cm |
| 素材 ※デザイン部門は記入不要です。菓子職人にお任せください | 食べる時 (季節) |

参考箇所 ※源氏物語の中の巻 (帖) や場面など、具体的にイメージした箇所があれば

コンセプト

デザイン ※デザイン画には必ず色をつけてください

(フリガナ)

住所 〒

年齢 性別 TEL FAX

職業 (学校名) E-mail

※学生の方は必ず学校名をご記載ください

※入選作品に関する知的財産権のすべてが有斐斎弘道館に属することを同意します。

京菓子って？

京菓子は平安期の朝廷の礼式、故実に基づいた年中行事の菓子である有職菓子をベースに、江戸期の茶の湯の隆盛により茶席菓子としても発展してきました。厳選された材料、職人の繊細な手技、そしてほんの少しの道具だけで作られる京菓子はまるでアート作品のよう。四季の繊細な色の移り変わり、ぎりぎりまで抽象化されたかたち、銘から広がる無限のイメージ……小さな京菓子は美意識の結晶です。

京菓子専門講座

有斐齋弘道館で継続的に開講している講座です。もっと深く京菓子を知りたい、応募に向けて本格的に学びたい、という方にぴったりです。講座の前半では本公募に運動したカリキュラムにて開催します。

日程：2018年7月24日(火)／8月28日(火)／9月25日(火)／10月16日(火)／11月27日(火)／12月18日(火)

時間：15:00～16:30

会場：有斐齋弘道館 参加費：30,000円(6回分/材料費込み)

京菓子展関連イベント

ワークショップ「京菓子をデザインしてみよう」

「お菓子づくりは難しそう」と思われる方にも気軽にご参加いただける講座です。京菓子の歴史や講師による京菓子づくりの実演を通じて、皆さんにもデザインに挑戦していただきます。京菓子の世界に一步近づいて、その豊かさに触れてください。

開催日時：2018年7月22日(日) 13:30～15:00

講師：太田達(公益財団法人 有斐齋弘道館) 参加費：無料 ※要申込

会場・申込先：京都府立図書館 FAX.075-762-4653 あるいはホームページより

源氏物語勉強会

源氏物語をみなさんと一緒に読み解きます。

開催日時：2018年7月14日(土) 14:00～15:00 / 8月4日(土) 14:00～15:00

講師：太田達(公益財団法人 有斐齋弘道館) 参加費：各回1,000円

会場：有斐齋弘道館

京菓子作り体験

レクチャーで京菓子への理解を深め、「こなし」という素材で実際に菓子を作ってみましょう。

開催日時：2018年8月12日(日) 13:00～14:30

講師：杉山早陽子(『御菓子丸』和菓子作家)、太田達 参加費：2,000円

会場：有斐齋弘道館



ゆうひさい こうどうかん

公益財団法人 有斐齋弘道館

有斐齋弘道館は、江戸時代を代表する儒者・皆川淇園(みながわきえん/1734～1807)の学問所「弘道館」址に建つ文化的建造物を保存しながら、江戸時代の教養文化を楽しみながら考え、広めていくための活動を行っています。公募展を通して、当時の文化サロンの豊かなネットワークに思いを馳せていただけましたら幸いです。

講座・イベントのお申込みは、有斐齋弘道館まで

(TEL：075-441-6662 / E-mail：kouza@kodo-kan.com)

※京菓子展関連イベント及び京菓子専門講座の参加の有無は審査には関係ありません。

「手のひらの自然—小倉百人一首」展 2017

平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて活躍した公家・藤原定家が選んだとされる、100人の歌人の歌を集めた小倉百人一首をテーマに新たな京菓子デザインを幅広く公募し、高校生を含む約324点の応募のなかから選ばれた入選作品45点を、有斐齋弘道館および下鴨三井別邸に展示しました。いにしへの和歌の意匠に挑む意欲的な作品群に、京文化の奥深さを来場者に実感していただく機会となりました。



茶席菓子実作部門 大賞

『想い袖』

作：小林 優子

参考：「君がため 春の野に出でて 若菜つむ わが衣手に 雪は降りつつ」光孝天皇



京菓子デザイン部門 大賞

せいらゆう
『清流』

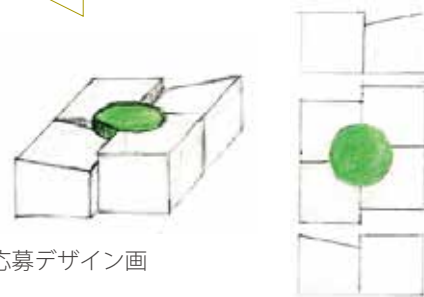
デザイン：古島一行

参考：「瀬をはやみ 岩にせかる 滝川の われても末に あはむとぞ思ふ」崇徳院



有斐齋弘道館 展示風景

京菓子デザイン部門の入選デザイン画は菓子職人が実作し、展示いたします



応募デザイン画

詳しくはこちら

<http://kodo-kan.com/kyogashi/>

京菓子展 HPにて、昨年の京菓子展入選作品を電子書籍でご覧いただけます